

平成27年11月26日

国土交通大臣 石井啓一 様
国土交通省九州地方整備局長 鈴木弘之 様
国土交通省立野ダム工事事務所長 宮成秀一郎 様

立野ダムによらない自然と生活を守る会 代表 中島康
立野ダムによらない白川の治水を考える熊本市議の会 代表 田上辰也
ダムによらない治水・利水を考える県議の会 代表 西 聖一
代表連絡先 熊本市西区島崎4丁目5-13 中島康 電話 090-2505-3880

立野ダムの穴の流木対策に関する公開質問状

立野ダム事業は多くの問題点を抱えているにもかかわらず、貴省は住民がこれまで何度も要請してきた立野ダムの住民向け説明会さえ一度も開催していません。貴省は、立野ダムのことを住民に何も知らせずにダム建設を進めようというのでしょうか。

貴省はホームページで、「立野ダム事業検証が終了した平成24年12月6日以降も、様々な機会を通じて『立野ダム建設事業』について、事業説明を行っている。検証終了以降に実施した主な事業説明等でイベント等における事業説明（イベント参加者等 約 5,400名）」等と述べ、あたかも立野ダム事業の説明責任を果たしているようなことを述べています。しかしそれらは、「H25.5.28 防災・減災シンポジウム」「H25.8.4 白川の日」など、立野ダムを説明したイベントではありません。

白川流域住民のほとんどは、立野ダムがどんなダムなのか、何を目的に造られるのか、どこにできるのか知る機会さえありません。そのような状況で、このままダムが建設されてしまえば、将来の住民に大きな禍根を残すことは明らかです。

私たちは一昨年10月1日と11月15日に、「立野ダムの放流孔の閉塞と堆砂に関する公開質問状」を貴省に提出しました。ところが貴省からの回答はなく、問い合わせた電話に「回答書は出さない。当所のホームページを読むように」と答えるのみでした。

貴省は、立野ダムの放流孔の上流側に設置される、20cmしかすき間がないスクリーンにはりついた流木は、「ダムの水位が上昇すると浮き上がるので、立野ダムの放流孔は閉塞しない」とホームページで主張しています。その根拠となる資料を情報開示請求したところ、本年8月10日に貴省は「立野ダム常用洪水吐きにおける流木対策について」と題する12ページの資料を情報開示しました。

同資料で行った模型実験は、立野ダムの1/62.5の模型（ダムの高さ1.44m、穴の一辺8cm）に、長さを変えた（4cm～24cm）直径5mmの円柱材（ラミン材）や、長さ2.4cm直径1.8mmのツマヨウジを最大で1000本流して、ダムの水位が上昇すると円柱材やツマヨウジが浮いてくる、というものでした。同資料について、以下8点について公開質問します。12月4日までに、文書での回答を強く要請します。住民に説明責任を果たすためにも、誠意ある回答をされるようお願い致します。

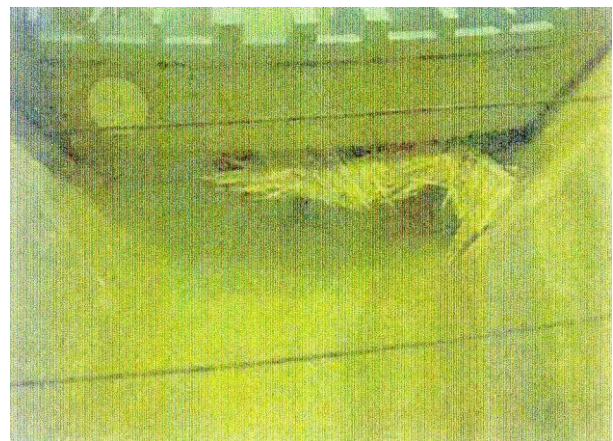
記

1. 同資料の模型実験は、いつ、誰が、どこで行ったのか。
2. 模型の放流孔の上流側に、スクリーンは設置したのか。設置した場合、スクリーンの材質は何で、すき間は何ミリメートルだったのか。

3. 模型実験に使用したラミン材やツマヨウジは、乾燥した木材である。また実験においては、密度の変化を防ぐためにニスを塗っている。しかし、洪水時に川を流下してくる木材は、水を含み非常に重くなっている。模型実験に用いたツマヨウジ等の比重は0.73となっているが、洪水時に実際に流れる流木はツマヨウジ等の比重よりも大きいことは明らかである。その点についての見解を述べること。
4. 洪水時に実際に流れる流木は円柱ではなく、枝葉や根がついており、当然曲がったり直径が変化したりしている。それらが絡み合っスクリーンに貼り付いた場合を想定していない。その点についての見解を述べること。
5. 洪水時には、流木と同時に大量の土砂や火山灰、岩石も流れることは明らかであり、実験ではそれらを想定していない。その点についての見解を述べること。
6. 模型実験では、立野ダム地点を実際に流下する木材の量を把握していない。阿蘇カルデラは、特に阿蘇谷では現在も拡大しており、また杉やヒノキの人工林も荒れており、今後も土砂災害が発生し大量の流木が発生することが想定される。また、集水域 383 km²の阿蘇カルデラ内の流木が立野地点に集中することなどを考えると、1000本という数字に根拠はない。その点についての見解を述べること。
7. 同資料に掲載されている写真は、下記に示すように非常に不鮮明なものであり、模型実験の様子がよく理解できない。鮮明な写真をなぜ公開しないのか。
8. 住民が模型実験を見学することはできないのか。流域自治体の首長や議員に、模型実験を公開しないのか。



3つの穴をふさぐツマヨウジが



水位が上昇すると浮いてくるとする模型実験の写真

以上